



遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)－臨床での実践

日時：2015年12月8日(火) 17:00～18:35予定 ※16:30開場

参加費
無料

会場：慶應義塾大学信濃町キャンパス 2号館 11階大会議室

対象：がん医療に携わっている医師、研究者、医療従事者、大学院生など

プログラム

■開会の辞 (17:00-17:05)

小崎 健次郎 (慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター)

■講演 I (17:05-17:50)

[座長]：菅野 康吉 (栃木県立がんセンター研究所がん遺伝子研究室・がん予防研究室)

1. HBOCの遺伝カウンセリング

武田 祐子 (慶應義塾大学看護医療学部／大学院健康マネジメント研究科)

2. 乳腺外来の立場から

林田 哲 (慶應義塾大学医学部一般・消化器外科)

3. 形成外科の立場から

貴志 和生 (慶應義塾大学医学部形成外科)

■講演 II (18:05-18:20)

[座長]：青木 大輔 (慶應義塾大学医学部産婦人科)

4. 婦人科の立場から

増田 健太 (慶應義塾大学医学部産婦人科)

5. PARP阻害薬について

今村 知世 (慶應義塾大学医学部臨床薬剤学教室)

■総合討論 (18:20-18:30)

■閉会の辞 (18:30-18:35)

青木 大輔 (慶應義塾大学医学部産婦人科)